

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和元年度第4回西脇市地域福祉計画推進会議
開催日時	令和2年1月23日(木) 午後1時30分～1時50分
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター
出席委員の氏名又は人数（敬称略）	谷口泰司、長尾芳明、村上昌紘、仲田美里、小谷義之、岡野雅代、村上典正、藤井志帆、足立ちづる、中嶋弘美、村上明生、木元倫代、齋藤周藏、宮崎延子
欠席委員の氏名又は人数（敬称略）	伊達恵一、岡井久夫、久下弘、絹川恵子、藤井修一、片山功
出席職員の職・氏名又は人数	福祉部 部長 細川喜美博 社会福祉課 課長 伊藤景香 こども福祉課 課長 岸本雅彦 社会福祉課 課長補佐 正木万貴子 社会福祉課 今村深力
傍聴人の数	2人
協議又は協議事項	(1) パブリックコメント実施結果の報告 (2) 第三次西脇市地域福祉計画の策定
会議の記録	
発言者	内 容
事務局	1 開会 委員の出席は14名 傍聴者は2名 委員の公職の交替による交代の紹介
会 長	2 あいさつ
事務局	(資料確認)
会 長	議事録署名委員の指名 齋藤会長と岡野雅代委員に決定
	3 協議事項
	(1) パブリックコメント実施結果の報告について、事務局から説明願う。
事務局	(事務局より資料説明)

会 長	説明があったが、質問があれば発言を願う。
委 員	質問ではないが、私は障害を持つ方に関わっており、「民生委員・児童委員活動を通じて台風・地震等災害時の助け合いが問題なくできると実感している。」という意見に、まだスタートラインに立ったばかりではないかという印象を持っている。例えば、高齢者一人に助け合いはこの方がするというように決まっている地域があると思うが、まだ全体的に完璧な援助ができるように整っていないと思う。あとの文章はすべて納得できるしその通りだと思うが、この2行が私はどうも納得ができない。
事務局	この部分に関しては、意見をいただいたご本人からお聞きする中では、活動を通じて地域で災害に対する防災計画があり、それぞれが近所で支え合うという機運が高まりつつあるということがこのような表現になったのかと思う。実際にできると確信しているわけではないが、前よりは皆の機運が高まっているということを含めると聞いており、そういう意味合いで受け取っていただきたい。
会 長	他になければ、次に進む。 (2) 第三次西脇市地域福祉計画の策定について、事務局から説明願う。
事務局	(事務局より資料説明)
会 長	説明があったが、質問があれば発言を願う。 ないようなので、以上をもって本日予定していた協議事項は、終了する。皆さんの円滑な会議運営の協力にお礼を申し上げます。
事務局	4 その他 本日協議いただいた答申書は、委員を代表して会長と谷口副会長とでこの後市長に提出していただく予定となっている。 計画書は、今後印刷製本を行う予定としているが、デザイン等については事務局に一任していただきたいと思うがよいか。 (異議なし) 計画の内容を抜粋したルビ付き・なしの概要版も作成する予定としている。

<p>部 長</p>	<p>計画の進行管理については、この推進会議で行うこととしている。令和2年度事業の実施状況の報告等を行うこととなるので、次回開催予定は、早くても秋頃になるのではないかと考えている。</p> <p>なお、委員の任期は令和2年7月31日までとなっているが、事務局としては引き続き皆様に就任いただきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。</p> <p>閉会の前に部長からあいさつを申し上げる。</p> <p>一言御礼を申し上げる。</p> <p>30年8月に委員として就任いただき、6回の協議を経た地域福祉計画は、西脇市福祉行政の最上位計画の位置付けになる。様々な意見をいただき方向性が示せたと考えている。答申の中にもあったが、全ての人が、お互いにやさしさと思いやりの気持ちを持って、つながり、助け合い・支え合い、安心して暮らせる地域共生社会を目指すということで、高齢化社会に進み、ライフスタイルも多様化していく中で、お互いを認め合って助けていくことが非常に大切だろうと思う。行政として方針に基づいて良い施策を実施していきたいと考えているが、行政だけでは取り組めない部分もある。委員の皆様のお協力・御支援、また地域の皆様のお協力があつて初めて良い方向に進むのではないかと考えている。引き続き、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げ簡単だが、お礼とさせていただきます。</p>
<p>会 長</p>	<p>以上をもって、本日の会議を終了する。</p>